

今週の花緑

H30. 7. 25現在



① フウリンブツウゲ (アオイ科)

場所: 花の美術館

花柄は風鈴のように下に長く伸び、先端付近に筒状の雌しべがついています。



② キフゲツウ (ショウガ科)

場所: 国際庭園

インド原産の常緑多年草であるゲツウの中で、葉に黄色い斑が入った品種です。葉や根茎は芳香剤としても利用されます。



③ サルスベリ (ミソハギ科)

場所: サイクリングロード 他

樹皮が剥げ落ちて、猿でも滑りそうなくらいツルツルになるため、この名前がつけました。花期が長いので、百日紅とも呼ばれます。



④ デュランタ (クマツヅラ科)

場所: 国際庭園(インドネシア)

標準和名はハリマツリで、台湾レンギョウの別名もあります。名前の由来は植物学者のデュランタスにちなみます。



⑤ ハマゴウ (シソ科)

場所: 浜辺の観察園

葉は楕円形で波打っていて、枝先に伸びた花穂には青紫色の唇花が多数ついています。



⑥ モミジアオイ (アオイ科)

場所: 百華園、南主園路

葉は大きく5つに裂け、モミジのような形をしているため、この名前がつけました。花は1日で散りますが、次々に咲かせます。



⑦ ルリマツリ (イソマツ科)

場所: 南主園路、北ロータリー

ルリマツリの「ルリ」は花の色から、「マツリ」は花姿がマツリカ(ジャスミン)に似ているところに由来します。



©のたね